



クラシック音楽の本場 欧州へ！



千葉県少年少女オーケストラ

アメリカ・ウィスコンシン州や韓国・ソウルといった海外での演奏活動も行っている『千葉県少年少女オーケストラ』。昨年は井上道義氏の「ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」でロシアのサンクトペテルブルグ交響楽団と共演する機会を頂くなど、音楽を通じたさまざまな国際交流活動に参加しています。

一昨年、デュッセルドルフ交響楽団が来日した際にはその演奏会に特別出演をする形での交流が実現。そして今回、そのデュッセルドルフ交響楽団から『今度はぜひ、ドイツに来てその演奏を聴かせて下さい！』と、なんと招待状が届きました…！

そこで以前、韓国公演の実現にもご協力いただいた井上道義氏にご相談をしたところ、ドイツへの同行を快く引き受けて下さり、さらにはデュッセルドルフ市以外に2都市を加えるという充実した内容の「欧州ツアー」を行うこととなりました。クラシックの本場・欧州で“あっ！”と言わせる演奏を披露したいと思います！



千葉県少年少女オーケストラ 欧州公演

期間：平成21年3月25日出発～4月3日帰国

- 演奏会 ①3月26日 デュッセルドルフ市 トーンハレ（ドイツ）
②3月29日 ソフィア市 ブルガリアホール（ブルガリア）
③4月1日 ケルン市 フィルハーモニック（ドイツ）

指揮：井上道義 管弦楽：千葉県少年少女オーケストラ

曲目（予定）：芥川也寸志/交響管弦楽のための音楽

ファリャ/組曲「三角帽子」より

ショスタコーヴィチ/交響曲第1番 ほか

～皆様からの暖かいご支援、どうぞよろしく願いいたします～

韓国公演に続き欧州公演でも指揮を下されることになった井上道義氏。「こいつらはうまいぜ！！」そんな身に余る言葉と共にいつも全身全霊の愛情と情熱でご指導下さいます。



～オペラ『夕鶴』 日本に帰る～



2005年、メキシコ・セルバンティーノ国際芸術祭。日本を代表するオペラ「夕鶴」をメキシコ人歌手が“日本語上演”するという大きな試みが成功しました。「夕鶴」のテーマでもある“恩返し”や“無償の愛”といった『日本の心』がメキシコの人々の心を動かしたのです。そして今年、この「夕鶴」を日本に逆輸入しようというプロジェクトが動き出し、そこに千葉県も参加することとなりました。

400年前の江戸時代、メキシコ人300名余りを乗せた船が御宿沖で難破。御宿の村人たちが乗員を助けたという史実がこの千葉にはあり、またそれが日本とメキシコの交流の始まりとも言われています。

千葉県少年少女オーケストラ、初のオーケストラピットに相応しい日本を代表する名曲です！どうぞお楽しみに！



- ①日本メキシコ友好400年記念 オペラ「夕鶴」
9月15日（月・祝）14時開演 千葉県文化会館

- ②＜招待演奏＞黒沼ユリ子の「夕鶴」コンサート

～日本とメキシコを結ぶ夕べ～

※オーケストラによる演奏会形式での上演となります。

9月23日（火・祝）14時開演 千葉県南総文化ホール

内容についての詳しいお問い合わせは 財団法人千葉県文化振興財団
千葉県少年少女オーケストラ事務局 TEL 043-222-0077 まで！

◆ 舞台公演のご案内 ◆

6/15

『神尾真由子 ヴァイオリンリサイタル』

千葉県文化会館

チャイコフスキー国際コンクール優勝から1年
さらなる磨きをかけた「天賦の才」の煌き

チャイコフスキー国際コンクール優勝の記憶も新しい神尾真由子が2008年、自身初となる国内リサイタルツアーを行います。公演直前の6月4日にはデビューCDの発売も決定。当日はその収録曲の中からも2曲ほど披露される予定です。

日時:6月15日(日)14時開演 料金:全席指定 3,500円(学生1,000円引)
出演:ヴァイオリン/神尾真由子 ピアノ/ロハン・デ・シルヴァ
曲目:シューベルト/ロンド イ長調 チャイコフスキー/ワルツ・スケルツォ ほか
お問合せ:千葉県文化会館 TEL 043-222-0201



10/5

『實川 風ピアノリサイタル』

千葉県東総文化会館



日本の頂点に輝いた、旭市出身の若きピアニスト

全日本学生音楽コンクールで1位を獲得する等、輝かしい活躍を続けている風(かおる)君。昨今では各界で飛躍著しい爽やかな青年のことを“〇〇王子”と評することがありますが、風くんもそんな青年の一人と言えるでしょう。地元出身の王子が奏でる音楽の「風」をぜひ感じてみてください！

日時:10月5日(日) 14時開演
料金:全席自由 1,000円
曲目:ショパン/ポロネーズ 第7番 op.61「幻想ポロネーズ」
リスト/「ダンテを読んで」-ソナタ風幻想曲- ほか
お問合せ:千葉県東総文化会館 TEL 0479-64-2001 ※6月発売予定

7/6

『輝け郷土芸能~Kids 心の鼓動~』

青葉の森公園芸術文化ホール

未来への“はばたき”に願いを込め・・・

今年で6回目を迎える、子ども達による太鼓の祭典。毎年その幕開けに合同演奏で披露される『はばたき』という曲があります。「子供達に元気に、未来へとはばたいて行って欲しい。」という願いを込め、1回目からの出演団体である「作新漣太鼓」代表の中田茂氏により作曲されました。日々の練習の成果、熱い思いを込めた、大人顔負けの演奏をご体験下さい。

日時:7月6日(日)13時30分開演 料金:全席自由 500円
出演:作新漣太鼓、千種太鼓、和太鼓白鳳、総浜太鼓 他
お問合せ:青葉の森公園芸術文化ホール TEL 043-266-3511



※ 8月31日(日)には大人の太鼓団体を中心とした『輝け郷土芸能~和太鼓の競演~』も予定しています。

全てのお客様にご満足頂ける施設を目指して ~その1「サービス介助士」

お客様に安心して、そして安全に施設をご利用頂くために、財団では職員に対して様々な知識と技術の取得を奨励しています。今回はその一つ「サービス介助士」の資格についてご紹介します。



安心のサービス介助士マーク

「サービス介助士」とは、入浴・排泄・食事などの介護を担うホームヘルパーの資格とは異なり、車椅子の正しい操作方法の取得や視聴覚の不自由な状態での屋外疑似体験などを通じ、お年寄りやお体の不自由な方に対する「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を学び、実践するための資格です。財団職員の有資格者は現在9名。(千葉4名、東総2名・青葉3名)

もちろん資格の有無に係らず、職員一同、お迎えをする側としての気持ちを忘れぬように心掛けています。施設のご利用に際しご心配や不安がございましたらどうぞ御気軽に各会館までご相談下さい。

編集後記

4月になりました。財団でも人事異動があり、新体制での業務がスタートしました。施設をご利用頂く皆様にとっては「あれ？いつものあの人はどこにいったの？」と思われることもあるかもしれません。異動を残念に思い、涙を流して下さるお客様もおいでになると、そんな話も聞いたことがあります。職員にとっては感無量、この仕事をやっていて本当に良かったと思う瞬間かもしれません。そして後任者も、前任者に負けない様頑張ろうと思う—より良いサービスとはそうして築かれていくのではないかと、そんな風に思います。